

視	嗅	覚	に	思	っ	て	い	た	以	上	に	意	識	を	持	っ	た	睡	魔	も	そ	こ	で	風	に	乗	っ	て	ど	こ	か	へ	飛	ん	で	い	薫	っ	て	い	る	こ	と	も	瞬	時	に	理	解	で	き	、	残	っ	て	い	嗅	覚	が	感	知	し	た	甘	い	香	り	が	目	の	前	の	女	性	か	ら	女	性	特	有	の	肌	に	目	を	奪	わ	れ	て	し	ま	う	。	遅	れ	て	の	肌	が	露	出	し	て	い	て	、	思	わ	ず	そ	の	き	め	細	か	な	か	ま	で	は	わ	か	ら	な	い	。う	な	じ	か	ら	肩	に	か	け	て	服	だ	け	で	“	女	性	”	だ	と	す	ぐ	に	わ	か	っ	た	が	、	誰	目	の	前	に	は	誰	か	の	後	ろ	姿	が	あ	っ	た	。髪	と	衣	よ	う	に	、	番	才	は	視	線	を	隣	に	移	す	。片	時	も	休	む	こ	と	な	く	流	れ	続	け	て	い	た	時	を	掴	む	い	経	っ	た	の	だ	ろ	う	。・	・	・	）	（	寝	て	し	ま	っ	て	い	た	の	か	。あ	れ	か	ら	ど	れ	く	ら	じ	る	の	に	合	わ	せ	て	、	思	考	も	ま	た	流	れ	て	い	く	。て	い	た	両	腕	に	血	液	が	流	れ	て	い	っ	て	い	る	の	を	感	う	な	気	が	す	る	が	思	い	出	せ	な	い	。顔	の	下	に	敷	い	番	才	は	目	を	覚	ま	し	た	。何	か	夢	を	見	て	い	た	よ	不	思	議	な	挑	戦
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

そ	少	自		よ	の	き	後	れ	唇	く	っ	番		目	こ	か	そ	才	て
う	し	分	「	う	動	当	を	る	を	太	た	才		の	と	咽	の	は	い
で	間	が	あ	と	作	たり	追	。女	経	も	。目	は		端	に	（	ま	「	か
す	を	話	の	し	な	、そ	う	性	由	も	が	そ		で	気	）	ま	ぐ	て
。あ	空	しか	。あ	て	ぜ	して	と、	の	して	。両	全	こ		捉	づ	残	ふ	い	た
。の	け	かけ	。あ	「え	だ	そ	その	視	こ	胸	自	こ		え	いた	った	っ	の	か
。は	て	ら	ん	っ	か	それ	手	線	ち	の	動	で		て	た	唾	と	か	、
い	い	れ	た	。あ	し	を	に	が	ら	ふ	三			い	を	を	押	、	唾
。	。あ	て	が	。番	っ	口	持	右	く	く	度			た	体	殺	し	、	が
	あ	一	「	才	か	に	つ	に	よ	よ	違			目	外	した	た	、	気
	あ	瞬	番	ち	り	運	陶	流	か	う	う			の	に	声	を	、	管
	っ	気	あ	ゃ	と	ぶ	器	る	な	意	意			前	放	を	、	に	
	は	づ	ん	ん	と	ま	の	の	膨	味	で			の	出	発	、	流	
	い	か	だ	だ	脳	で	グ	に	ら	で	咽			女	し	した	れ	込	
	。	ず	。だ	。	裏	の	ラ	釣	み	せ	せ			性	た	込	み	番	
			」		に	一	ス	ら	。そ	し	し			が	う	た	み	番	
			」		焼	連	に	れ	し	ま	ま			振	と	。	み	番	
			」		き	行	に	て	て	ま	ま			り	何		番		
			」		付		釣	て	こ	ま	ま			返	度				
			」		け		ら	て	ち	ま	ま			る					
			」				れ	て	ら	ま	ま			の					
			」				を	て	を	ま	ま			を					

と	出	髪	毛	を	り	え	そ	自	あ		前	安	彷徨	度	「	「	「	そ	と
こ	て	を	も	合	も	な	れ	分	の	の	の	心	わ	グ	ん	お	お	し	こ
ろ	い	か	気	わ	背	い	で	の	グ	酔	女	感	わ	ラ	ふ	お	は	て	れ
で	る	ん	に	せ	が	。	も	姿	ラ	っ	性	か	せ	ス	く	は	よ	少	ま
、	。	ざ	し	て	高	自	し	勢	の	て	の	ら	て	を	」	は	し	し	の
番	不	し	て	い	い	分	か	が	中	い	か	、	し	あ	ご	よ	て	の	行
才	意	で	な	な	の	と	も	お	身	。	。	、	妙	お	ざ	う	て	の	い
は	に	ま	い	い	か	同	し	世	は	。	。?	に	に	酒	い	。?	返	の	も
忘	目	と	よ	女	し	じ	れ	辞	、	。?	な	冷	か	。?	。?	事	の	相	
れ	が	め	う	性	な	か	い	に	お	。?	っ	静	な	。?	。	を	の	ま	
て	合	て	に	の	い	、	は	も	酒	。?	と	に	な	。	。	返	の	っ	
い	い	あ	大	顔	よ	、	良	い	。	。	い	な	っ	。	。	す	。	て	
た	微	り	雑	が	。	飾	と	は	。	。	。	。	。	。	。	。	。	、	
疑	笑	が	把	映	。	り	は	思	。	。	。	。	。	。	。	。	。	や	
問	み	ま	に	る	。	が	わ	わ	。	。	。	。	。	。	。	。	。	け	
を	か	と	ま	。	。	横	な	い	。	。	。	。	。	。	。	。	。	に	
思	け	め	と	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
い	ら	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
出	れ	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	
し	た	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	

目	は		の	び	っ	相	（	に	こ	「	「	覚	っ	気	と	「	あ		た
線	名	「	酒	す	て	手	め	バ	こ	今	あ	え	て	に	ぶ	ん	「		。
を	乗	こ	量	る	い	を	い	レ	っ	は	っ	ち	あ	寝	つ	く	あ		
下	っ	ち	を	話	る	誘	め	ち	そ	は	っ	ャ	っ	て	く	？	の		
げ	て	ら	推	し	の	惑	め	ャ	り	ね	・	ャ	た	ん	』	。	。		
ら	お	こ	測	方	だ	す	め	ャ	こ	く	。	た	の	の	。	。	。		
と	り	そ	す	に	ら	る	で	。	こ	わ	。	。	文	よ	。	。	。		
脚	ま	。	。	、	。	た	は	。	。	。	。	。	。	。	。	。			
が	す	天		番	。	め	な	。	。	。									
目	。	下		才	。	は	く	。	。	。									
に	よ	番		と	。	単	。	。	。	。									
入	ろ	才		、	。	純	。	。	。	。									
り	し	と		あ	。	に	。	。	。	。									
、	く	、		の	。	お	。	。	。	。									
上	お	あ		、	。	酒	。	。	。	。									
げ	願	の		こ	。	が	。	。	。	。									
る	い	こ		こ	。	回	。	。	。	。									
と	し	こ		こ	。	。	。	。	。	。									
胸	ま	こ		。	。	。	。	。	。	。									
が	す	こ		。	。	。	。	。	。	。									

ど	こ	に	も	定	ま	ら	な	い	目	線	を	所	在	な	げ	に	泳	が	せ
て	い	る	と	、	視	線	と	声	だ	け	こ	ち	ら	に	残	し	て	女	冥
は	身	体	ご	と	奥	で	作	業	を	し	て	い	る	仏	蘭	た	ち	の	方
を	向	い	た	。															
「	今	は	ね	く	、	み	ん	な	作	業	中	で	あ	ん	ま	り	や	る	こ
と	な	い	ん	だ	く	。	あ	ん	ま	り	手	を	貸	す	な	っ	て	仏	蘭
に	言	わ	れ	て	る	し	さ	く	。	あ	た	し	が	い	な	く	て	も	ほ
ら	、	依	飾	（	よ	る	し	か	）	が	あ	あ	や	っ	て	見	て	く	れ
て	る	し	。	あ	れ	？	番	才	ち	ゃ	ん	依	飾	は	知	っ	て	る	ん
だ	っ	け	？	」															
「	い	え	。	。	。	あ	の	、	あ	ち	ら	の	方	で	す	か	？	」	
そ	う	言	っ	て	番	才	は	雫	た	ち	が	作	業	を	す	る	机	か	ら
少	し	離	れ	た	と	こ	ろ	で	佇	ん	で	い	る	“	何	か	”	を	視
線	で	女	冥	に	示	す	。												
「	そ	う	。	あ	れ	く	。	あ	れ	が	依	飾	っ	て	言	う	の	。	
あ	た	し	の	相	方	で	さ	く	、	絶	対	依	（	よ	る	）	か	ら	近
づ	い	て	こ	な	い	か	ら	今	紹	介	し	と	く	ね	く	」			
絵	の	上	手	く	な	い	人	が	描	く	棒	人	形	の	よ	う	な	関	節
の	な	い	黒	い	影	が	確	か	に	立	っ	て	い	る	。	頭	と	思	わ
れ	る	丸	い	部	分	に	二	つ	空	洞	が	あ	り	、	そ	の	奥	で	弱

る	て	に			言	で	ら	ば	さ	い	た		で	な	を	人	れ	る	影	弱
か	い	自			葉	、	の	あ	い	よ	た		し	い	、	で	ら	よ	で	し
わ	る	分			を	女	ト	の	よ	！	た		か	な	ど	も	う	は	く	く
か	の	が			発	冥	ラ	所	！	と	た		し	な	ウ	も	ち	は	光	く
ら	か	描			す	が	ウ	に	と	り	た		し	な	マ	ち	女	が	が	光
な	わ	き			る	こ	な	返	り	あ	た		し	な	な	ら	の	大	は	が
い	か	込			こ	も	ど	し	あ	え	た		し	な	は	き	き	き	な	灯
横	わ	ん			と	な	お	に	え	ず	！		し	な	く	く	く	く	つ	つ
に	か	で			な	か	構	い	も	う	！		し	な	理	住	打	流	て	て
置	ら	い			っ	っ	い	っ	う	使	！		し	な	解	人	っ	動	い	い
い	な	る			た	た	な	て	も	わ	起		し	な	す	に	い	的	て	る
て	い	もの			。っ	。っ	し	ち	う	な	き		し	な	れ	も	た	に	。っ	。っ
あ	る	が			。っ	。っ	に	よ	使	い	た		し	な	ば	見	妖	黒	。っ	。っ
る	作	果			。っ	。っ	指	う	わ	布	な		し	な	よ	え	怪	い	。っ	。っ
作	り	た			。っ	。っ	示	だ	な	い	な		し	な	い	な	や	常	。っ	。っ
り	か	し			。っ	。っ	を	い	布	を	手		し	な	の	天	に	動	。っ	。っ
け	け	て			。っ	。っ	出	。っ	を	を	伝		し	な	か	界	い	。っ	。っ	。っ
の	の	合			。っ	。っ	す	と	を	を	い		し	な	わ	の	。っ	。っ	。っ	。っ
衣	な	っ			。っ	。っ	ま	ち	を	を	な		し	な	か	住	。っ	。っ	。っ	。っ

頭	部	の	な	い	マ	ネ	キン	に	着	せ	ら	れ	た	そ	の	作	り	て	き	た	。	の	部	分	だ	け	が	描	き	込	ま	れ	た	紙	型	を	持	つ	て	帰	っ	の	中	か	ら	今	見	つ	め	て	い	る	作	り	か	け	の	衣	服	と	そ	の	を	選	び	出	し	二	人	に	託	す	と	、	も	の	の	一	瞬	で	鏡	な	布	の	中	か	ら	自	分	で	イ	メ	ー	ジ	に	合	っ	て	い	る	も	こ	と	の	よ	う	に	感	じ	ら	れ	る	。	そ	の	紙	に	山	の	よ	う	し	恥	ず	か	し	く	な	っ	た	あ	の	瞬	間	が	も	う	随	分	前	の	自	分	の	あ	ら	ゆ	る	サ	イ	ズ	が	記	入	さ	れ	て	あ	り	、	少	依	飾	と	女	冥	に	渡	さ	れ	た	紙	の	隅	に	は	初	め	か	ら	の	大	ま	か	な	内	容	を	説	明	し	た	。	つ	と	鳴	ら	し	て	仏	蘭	が	三	人	に	こ	れ	か	ら	や	る	こ	と	意	味	が	あ	る	の	か	わ	か	ら	な	い	眼	鏡	を	「	カ	チ	ヤ	」	形	に	し	て	い	き	な	さ	い	。」	い	か	ら	、	残	り	の	不	明	瞭	な	部	分	だ	け	自	分	た	ち	で	だ	布	で	と	り	あ	え	ず	の	形	は	組	み	上	げ	ら	れ	る	ら	し	る	こ	と	は	で	き	な	い	そ	う	よ	。	た	だ	、	さ	つ	き	選	ん	た	ち	の	頭	の	中	に	し	か	な	い	も	の	を	完	全	に	再	現	す	「	い	く	ら	よ	っ	ち	ゃ	ん	と	め	い	ち	ゃ	ん	で	も	あ	ん	た	服	を	見	つ	め	た	。
---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

その	自	あ	「	耳	が	ろ	る	ど	同	て		れ	直	い	細	か	ズ	考	か
の	ら	え	ど	の	着	の	こ	か	じ	こ	「	ば	し	。細	る	も	え	え	け
会	も	ず	う	相	せ	マ	と	ら	よ	れ	ね	形	、	。細	か	も	た	え	け
話	何	耳	い	談	ら	ネ	が	何	う	え	ね	に	今	。細	な	も	だ	え	け
を	か	の	う	を	れ	キ	合	度	紙	え	え	で	頭	。細	デ	も	が	え	け
聞	を	形	耳	し	、	ン	っ	も	型	え	え	に	に	ザ	自	そ	も	え	け
き	作	で	に	て	今	に	て	仏	と	え	え	可	置	イ	分	れ	も	え	け
な	っ	布	し	い	は	は	い	蘭	向	え	え	か	か	ン	様	は	も	え	け
が	て	を	た	る	そ	黄	る	に	き	え	え	と	ん	の	に	た	も	え	け
ら	い	切	い	よ	の	色	の	こ	合	「	こ	ら	前	の	だ	も	も	え	け
紅	る	る	か	う	フ	い	か	う	っ	こ	の	め	に	の	形	も	も	え	け
蘭	ら	から	に	だ	ー	パ	を	し	て	こ	の	っ	置	に	な	も	も	え	け
に	る	そ	も	っ	ド	ー	確	て	自	を	の	こ	か	な	な	も	も	え	け
視	ら	れ	よ	た	の	カ	認	分	の	を	や	を	ん	紙	再	も	も	え	け
線	い	で	け	。	部	の	し	分	の	再	っ	再	見	現	も	も	も	え	け
を	い	い	ど		分	の	て	の	や	開	を	現	見	で	も	も	も	え	け
移	わ	わ	、		に	や	い	っ	っ	し	開	き	て	も	も	も	も	え	け
す	い	い	と		付	っ	。	て	い	た	た	て	い	も	も	も	も	も	え
と	わ	わ	り		け	な	後	い	ほ										

紅蘭は紅蘭で依飾に何やら聞いているみたい
 で、しきりに身振り手振りで何かを伝えてい
 る様子だった。雫は改めて自分の手元にある
 紙型を見つめる。先ほどから何も変わってい
 ない紙型。考えても考えてもどうすればいい
 かわからず、それでもどうか期待に応えた
 いと焦る心を唇を噛む痛みで忘れようとする
 「ちゃんとやりなさい。」
 「それくらいできるでしょ？」
 「もうお姉ちゃんだから。」
 「弱音なんか聞きたくないわ。」
 「それくらい自分で考えてちょうだい。」
 “世界に一つだけの洋服作り”を始めた瞬間
 から脳内で繰り返し聞こえる声は、いくら唇
 を噛んでも消えはしない。この短期間で自分
 からああして誰かと関わり始めるまでになっ
 た紅蘭を見つめていると、胸の内のモヤモヤ
 が急速に広がっていく感覚を確かに感じてし
 まう。この感覚が本物なら、今自分が必死で
 考えていることも事実のはずなのに何も浮か

で	ぐ	お		視	雫	り	す	同	が	し	「	視	ら	顔	雫	な		み	ば
き	に	母	「	線	の	出	ら	士	い	だ	い	線	を	を	の	る		も	な
な	理	さん	だ	を	手	し	知	を	る	だ	い	を	見	上	目	の		、	い
く	解	や	け	送	か	て	ら	縫	こ	っ	い	落	つ	げ	が	よ		確	。自
て	で	先	ど	り	ら	、	な	い	と	か	と	と	め	る	光	」		か	分
、	き	生	、	何	鉛	思	か	合	も	を	も	て	い	を	吸			に	だ
最	る	に	そ	か	筆	っ	っ	わ	、	取	も	い	て	と	収			。に	け
初	こ	怒	こ	を	を	た	わ	。ほ	、	、	も	、	そ	、	し			。に	が
は	と	ら	か	描	取	か	。ほ	ら	、	後	も	、	の	ま	て				取
洋	も	れ	ら	き	、	ら	。ほ	、	一	ろ	も	、	の	ま	瞳				り
服	わ	て	さ	込	後	、	。ほ	枚	枚	の	も	、	マ	ま	孔				残
作	た	さ	。周	み	の	マ	。な	の	が	ネ	も	、	ネ	足	が				さ
り	し	。周	り	始	マ	キ	ん	布	こ	ン	も	、	ン	下	小				れ
な	は	の	子	め	ン	へ	と	か	う	と	も	、	と	の	さ				て
ん	な	は	は	た	と	切	と	ら	や	紙	も	、	紙	紙	く				い
て	か	は	な	か	と			切	っ	型	も	、	型	型	な				る
大	か	な	か	理					て	の	も	、	へ	と	っ				こ
っ	理	か	理	解					布	よ	も	、	と	ち	た				の
嫌	解	解	解	し					布	。あ	も	、	と	こ	。あ				痛
い	解	す	て	。、					布	た	も	、	と	こ	。あ				

そ	と	い	迷	で	自		に	同	定	最	て	も	ろ	分	時		込	慣	だ
の	を	け	惑	迷	分	「	見	じ	規	後	も	ら	い	一	に	で	ん	れ	っ
決	知	ど	を	惑	の	初	え	線	を	ま	ら	い	ろ	人	、	で	で	た	た
断	っ	、	か	が	や	め	る	な	器	で	っ	な	準	で	わ	も	い	の	の
を	て	そ	け	掛	り	て	。	の	用	諦	た	が	備	、	た	ね	い	手	の
下	い	の	け	か	た	な		に	に	め	り	し	し	、	。		つ	。	
し	る	？	な	と	だ	ん		自	使	ず	し	た	て	、			き	別	
た	の	あ	い	し	か	ら		分	い	に	り	り	さ	。				の	
の	か	な	は	た	ら	さ		の	こ	や	し	て	。					型	
か	は	ど	は	が	自	。		物	な	ら	、	、	。					に	
は	聞	れ	ど	ど	分	あ		と	し	切	そ	。						ま	
い	い	だ	れ	れ	に	れ		は	た	っ	れ	。						た	
て	く	け	い	い	だ	こ		ま	り	た	。							違	
く	れ	あ	る	の	け	し		る	い	の	よ							う	
れ	た	な	か	か	。	れ		で	く	の	。							何	
た	？	の	も	。	誰	考		違	線	し	。							か	
あ	な	こ	し	誰	か	え		う	は	。								を	
な	で	こ	れ	に	に	ず		よ	、									描	
		な	な	に	に	に		う										き	

に	方	し	だ	ば	こ	聞	も		い	つ	様	「	い	で	ら		「	居	仏
し	向	い	と	い	ん	き	よ	「	た	れ	々	・	い	可	も		ト	の	蘭
ま	に	”	し	い	な	な	の	も	。	た	な	・	。	る	っ	ン	読	は	
せ	流	と	た	の	こ	さ	よ	よ		糸	な	・	だ	わ	と	ト	み	紙	
ん	す	か	ら	の	と	い	。	こ		の	な	は	っ	ね	ラ	ン	手	型	
”	ん	”	、	そ	っ	。	。	っ		一	な	い	。	。	ブ	」	の	を	
と	じ	”	そ	の	て	。	。	て		部	な	。	。	。	リ	と	よ	持	
か	ゃ	”	の	気	思	。	。	思		を	な	。	。	。	ー	う	ち		
”	な	”	持	持	う	。	。	う		含	な	。	。	。	に	な	上		
や	く	”	ち	を	こ	。	。	ま		ん	。	。	。	。	も	格	げ		
る	て	”	”	”	と	。	。	く		だ	。	。	。	。	で	好	横		
か	、	”	放	気	も	。	。	く		か	。	。	。	。	で	で	か	ら	
ら	”	”	っ	持	遠	。	。	く		ら	。	。	。	。	自	し	ら	覗	
に	の	”	て	ち	慮	。	。	く		な	。	。	。	。	分	セ	き	き	
は	経	”	お	が	せ	。	。	く		ら	。	。	。	。	が	ク	込	込	
”	験	”	い	あ	ず	。	。	く		な	。	。	。	。	描	シ	み	み	
っ	を	”	て	る	に	。	。	く		な	。	。	。	。	い	ー	。	。	
て	無	”	お	ん	聞	。	。	く		な	。	。	。	。	た	に	。	。	
い	駄	”	い	ん	け	。	。	く		な	。	。	。	。	だ	も	。	。	
う		”	て	ん		。	。	く		な	。	。	。	。	だ	も	。	。	
		”	い	ん		。	。	く		な	。	。	。	。	だ	も	。	。	

